

---

sirent

reruka

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

sirrent

### 【ZPDF】

N7644F

### 【作者名】

reruka

### 【あらすじ】

sirrentにこの世界を潰される事をいやがるローが、sirrentに立ち向かっていく話。

## 1人目：s i r e n t

こんな世界飽きた。

僕はいつもこう思う。戦争なんて仕方ない。

だけど僕はこの剣を振るう。『s i r e n t』

を全部潰さないとこの世界に平和は訪れないらしい。

申し遅れました。僕の名前は泉谷宏太。通称コ一。

その『s i r e n t』と戦う剣を使える唯一の人間。そうしてる間に『s i r e n t』がきた。

『十字架ノ呪い』

そのかけ声とともに剣に十字架が描かれ、青いフサフサしている毛が持ち手に付いた。

普段は、十字架のない普通の剣。

『十字架ノ毒』

すると剣から紫の光が放たれ、s i r e n tが次々に倒れていった。

『とじめだ。十字架ノ怒り』

ズガガガガツガガガ！！！！

地が割れるような音と共に、s i r e n tが全体消えた。  
何があつたのか。キヨトンと見守る夏実。

「どうしたの？カジツ？」

本当は夏実<sup>なつみ</sup>って読むけど僕はカジツって読んでる。

「コ一。そんな力あつたの？」

驚いたような顔。少し見つめ合つてたような気がした。

「なんで？カジツ？」

実は、普通の人はs i r e n tと僕が戦っているのは見えていないはず。

まさか、と思い師匠に電話した。

「カナディー！！戦つてる姿が見える人を発見しました！」

「. . . . 。」

世界に2人居るかどうかの『ebuilding·eye』の持ち  
主かもしれない。

その期待が大きくて僕はまた一歩歩き出した。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7644f/>

---

sirent

2010年10月15日23時48分発行